



感染症週報



小笠原での流行状況

第18・19週（4月27日から5月10日まで）

父島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、不明発しん症の報告がありました。

母島 突発性発しんの報告がありました。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第17週（4月20日～4月26日）

（第18週は11日夕方発行となります。）

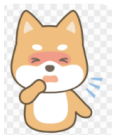
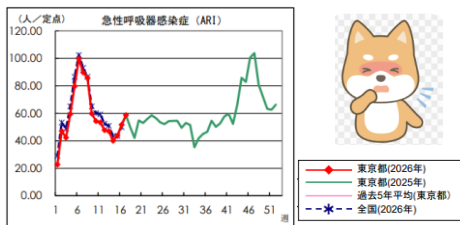
【警報・注意報】

なし

【ピックアップ】

◎急性呼吸器感染症（ARI）

定点当たり報告数が、58.71と前週より増加しています。
（4/30発行分コメント）



◎はしか増加中



発熱と発疹等、はしかを疑う時は
診療所にまず電話連絡を！

ニュースで最近聞くなあ…

ハンタウイルスって??



ハンタウイルスはネズミなどのげっ歯類の一部が持っているウイルスです。ウイルスを保有する野生のネズミの糞、尿、唾液が乾燥して粉じん（ほこり）となり、それを吸い込んだり（飛沫・粉じん吸入）、汚染された飲食物の摂取や、傷口への付着、咬傷によっても感染します。基本は人獣共通感染症ですが、極めて稀に人から人へ感染する事例も報告されています。ユーラシア・東アジア・欧州・南北アメリカ大陸と広く存在していますが、日本での発生は1999年以降報告されていません。国内にその媒介となるネズミは生息していないため、国内での感染拡大リスクは低いと厚生労働省が公表しています。

ハンタウイルス感染症は、症状により主に2つの病型に分類されます。

- ・腎症候性出血熱
発熱、腎臓の障害を特徴とし、主な流行地域はユーラシア大陸全域です。
- ・ハンタウイルス肺症候群
風邪の症状から始まり、その後呼吸困難が急速に出現します。早い時点での人工呼吸が必要です。主に南北アメリカ大陸で発生しています。



感染症メモ

海外へ出かけるとき（国内でもOK）に気をつけたい感染症のポイント

お出かけ前

- ①渡航先の感染症情報を調べる
- ②予防接種の確認
- ③持病がある方は事前に相談



お出かけ中

- ①食べ物・飲み物に注意
- ②手洗い・手指消毒をこまめに
- ③蚊に刺されない対策
- ④動物にむやみに触らない
- ⑤体調不調の人との接触に注意



習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所